

五月六日

利家 在印

海 津

松屋之道安

【松屋文書】

二四一七

態申越候。仍いけ白鳥三ツ・ひしくい壹ッ京へのぼせ候間、舟にて大津孫一所迄とどけ可申候。此書狀共ニたしかに可届候。謹言。

霜月十四日

利家 在印

かいづ

松やの道安

【氣多神社文書】 羽咋郡

二四一八

爲新春之嘉祥御祓頂戴、目出満足此事情。隨而海鼠腸桶二送給之候。爰元稀候。彌以遠路懇意段喜入候。委細三嶋新右衛門尉可申候。謹言。

正月十八日

利勝 在判

氣多大宮司

櫻井監物承殿

【氣多神社文書】

二四一九

以上

爲年頭之祝義、卷數并青銅三十疋・鯛一折到來、喜悅之至候。猶今井彦右衛門尉可申候。謹言。

利四

正月廿八日

利政 在判

一宮監物殿

【永光寺文書】 鹿島郡

二四二〇

爲年頭之祝義、銀子貳文め送給候。喜悅至極候。猶今井彦右衛門尉可申候。恐々謹言。

利四郎

二月八日

利政 在判

堺之寺

永 光 寺

侍者御中

(同一の文書にして今井彦右衛門尉に代へて西村右馬と書せるものあり。西村右馬助は利長の家臣たるが故に非なるべし。)

【猿女文書】 珠洲郡

二四二一

此邊爲見廻、代物三十疋到來候。喜悅ニ候。猶三輪四郎兵衛可申候。恐々謹言。

八月五日

利政 在判

三崎 大宮

【前田家文書】 金澤

二四二三

歳暮之爲祝義、銀子五匁慥相達候。誠被寄思悃志之段別而令満足候。猶追而可申達候。恐々謹言。

利孫四

正月七日

利政 在判

八田与六殿

【前田家文書】 金澤

二四二三

以 上

年甫之爲祝義、銀子三匁到來候事、誠以令悦喜候。毎度心付寄特共候。猶追而可令申候。恐々謹言。

利四郎

正月十二日

利政 在判

八田与六殿

【櫻井文書】 羽咋郡

二四二四

爲年甫之祝儀、鯰三尺到來祝着之至候。遠路早々悃志喜入候。尙三輪四郎兵衛可申候。謹言。

利政 在判

正月十二日

丹羽右兵衛殿